

守ろう 子どもの未来と可能性 ～「チーム稲沢」としてできること～



問合先 市役所学校教育課 ☎ 0587(32)1436

- ぼんやりしている
- ささいなことで泣く
- 元気がない
- 笑わなくなる
- 喜怒哀楽が激しい、または無表情になる
- 学校や友達のことを話したがない
- 一方的に話し、会話が成立しない

●表情や会話の変化

- 食欲がない、または過食になる
- 体の痛みやかゆみを訴える
- 眠れない
- おねしょが始まる、または増える
- 以前には見られなかったチックが出たり、激しくなったりする

※チック…不規則で突発的な体の動きや発声

●身体反応

子どものストレスサインの例

- 学校に行きたがらない
- 学習への意欲が乏しくなる
- 家族に反抗的になる
- 休日でも家に閉じこもりがちになる
- ゲームや習い事など、好きなことでもやりたがらない
- ささいなことで物を壊したり、攻撃的になったりする
- 何度も手を洗ったり、少しの汚れで着替えたりする
- 小さな物音に驚く
- 親のそばから離れない、強い甘えが見られる
- 一人になるのを怖がる

●行動の変化

**家庭だけで悩まず
ご相談ください！**

■ 稲沢市子育て支援総合相談センター

家庭における子どもの育て方、子どもの発達・問題行動・不登校、子どもの養育に関する保護者の悩みなどに対し、発達の専門職が、0歳から18歳までを対象とした市民の総合的な子育ての相談に応じます。

☎ 0587(34)4159 (平日、午前8時30分～午後5時)

■ 児童相談センター

虐待や非行などのほか、不登校に関する相談も行っています。

一宮児童相談センター ☎ 0586(45)1558

■ 適応支援教室 明日花・明日花(東分室)

さまざまな要因によって登校できない児童生徒に対し、自分のペースで通いながら少しずつ学習意欲を高めたり、集団生活に慣れたりするための支援を行う教室です。見学や体験などのご相談は、気軽にお問い合わせください。

明日花 ☎ 0587(36)5727、明日花(東分室) ☎ 0587(23)8739

そのほか、下記の窓口でも児童生徒や保護者の相談に応じています

■ 教育相談室 (愛知県総合教育センター) ☎ 0561(38)2217 (平日、午前9時～午後5時)

■ 教育相談こころの電話 (愛知県教育・スポーツ振興財団) ☎ 052(261)9671 (午前10時～午後10時)

■ 小・中学校のスクールカウンセラー・

スクールソーシャルワーカー・心の教室相談員

各学校を担当するスクールカウンセラーなどに相談できます。児童生徒だけでなく、子育てに悩む保護者も利用することができます。詳しくは、各学校までお問い合わせください。

「不登校児童生徒」とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」
(引用元:「不登校の現状に対する認識」文部科学省)

不登校の現状
「学校になかなか行くことができない」「学校に対して前向きな気持ちになれない」。児童生徒本人にとって大変つらい状況ですが、それを見守る保護者も同じようにつらい状況だと思えます。一人一人が抱える理由はさまざまで、その対応策も多角的に考えていく必要があります。

平成30年度、小・中学校における不登校児童生徒数は、16万4528人で、前年度から2万497人(約14%)増加しています。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は1.7%(前年度1.5%)となつています。過去5年間の傾向としては、小・中学校ともに不登校児童生徒数およびその割合は増加しており、稲沢市においても同様に増加傾向が見られます。

また、不登校児童生徒の約6割が90日以上欠席しているなど、深刻化するケースが多々見られます。

心のサインに気付く
子どもは危機に直面したり、環境の変化や人間関係などによってストレスを抱えたりすると、多くの場合、心身に異変(ストレスサイン)が現れます。このストレスサインにいち早く気付き、早期に対応することで重症化を防ぐ可能性が高くなります。

日頃の健康観察などにおいて、行動面・身体面・表情や会話などの面から変化をつかみやすいよう具体的な例を挙げました。(左ページ上。引用元:「子供の心のケアのために」文部科学省)

子どもたちは、家庭と学校とで異なる様子を見せることがあります。気になる様子に気付いたら、学校での生活や出来事を聞いてみると、子どもへの理解が深まり、学校や専門機関への相談に結び付けやすくなります。



家庭だけで悩まず、相談を
学校や学級担任に限らず、県や市には不登校に関する相談窓口や不登校児童生徒のための支援教室があります。ここでは、そのいくつかを紹介いたします。(左ページ下)

現在、「コロナ禍において、登校に対するさまざまな不安を抱えている児童生徒や保護者の方もいるかもしれませぬ。そのような場合にも遠慮せずに、ご相談ください。

子どもたちは、無限の可能性に満ちています。保護者ももとより、学校をはじめ、稲沢市全体がチームとなって連携し、協力しながら子どもたちの健やかな成長を支えていきましょう。